

7月30日、津波警報発令における議会对応

- 9時 津波注意報発生に関して、長嶋議員が議長室に来て、対策について相談
- 総合防災課長に電話
- 課長からは、潮位変化をライフガードが行なっていると聞いている、と伝聞報告
- 観光課長休みのため、総合防災課長に対応を要請
- 注意放送を海水浴場に流すよう要請するが、結果流されず
- 9時40分 津波警報発令
- 10時 災害対策会議招集のため、事務局長が出席の報告
- 10時15分 議会事務局長より連絡
- 市役所に避難してきているので、どうしますかと相談がある
- 即、議場開放を決め、そのことを災害対策本部に通知するよう指示
- 事務局に、直ぐに議場を開放するよう指示し、合わせて議員控室の施錠を指示
- 全委員協議会室、委員会室の開錠を指示
- ロビーに、あるだけのパイプ椅子を並べるよう指示
- ロビーのテレビをつけ、避難者が見ることができるようにする
- 総合防災に、非常水を議会に届けるよう要請
- 「御成中が近いので持ってくるまで時間がかかる」と言われるが、庁舎内にある非常水を直ぐに持ってくるよう要請
- 「どこに持っていきますか」とのことなので、事務局に持ってきてくれれば事務局で配ると要請
- 公的不動産課長が来たので、椅子をあるだけ持ってきてくれるよう要請
- 直ぐに、執行部職員が椅子を並べる
- 水が届き始め、議員、事務局で配る
- 議場だけでなく、議会棟を含めて2階にいる皆さんに配る
- 総合防災課に、非常食を持ってくるよう要請
- 御成中から持ってくるとのことだったが、庁舎にある非常食を取り急ぎ持ってくるよう要請
- 事務局前に届けるよう要請
- 直ぐに届き、議員、事務局だけでなく、執行部職員も手分けして配る
- 全ての避難されてこられた方に渡ったか確認
- 子供も多かったので、子供一人ひとりに渡ったか確認
- 議長公務の「圏央道促進大会」欠席の連絡をするよう指示
- 逐次、副議長と議長室で打ち合わせと確認

- 議会事務局長から、避難されている方からオムツの要望があると相談を受け、総合防災課にオムツをすぐに議会に手配するよう要請
- 届き次第、子供用オムツ配布し、アナウンスをする
- 大人用オムツは、トイレ横にパーテーションを作り、内部を見えないようにして、必要な方は受け取りをアナウンス
- 長嶋議員が、案内紙等を作成して貼っていただく
- ゴミを入れる段ボールを用意
- 予備のペットボトルと非常食を並べて、どなたでもお持ちいただくようアナウンス
- 東アジア担当課長が多言語案内をするとのことで、議会のスピーカーを用意し、長嶋議員のコンパクトスピーカーを貸す
- 中国語、韓国語での案内だったので、英語での案内も要請
- Wi-Fi についての要望があったが、議会の Wi-Fi については、接続数に限りがあるため、開放せず
- 充電器の貸し出し要望があったが、個数がないので、充電器を持っている場合のコンセント使用にとどめる
- 防災担当部長がいないことを確認していたが、次長に連絡するものの、電話はつながらず
- 繋がってから、大船までマイクロバス運行を要請
- 避難所開設の報告を受ける
- 事務局は、ゴミの分別を開始
- 総合防災課長より、モノレールが動いているので、湘南深沢駅までピストン運送をするとの報告
- 総合防災課長と電話が繋がらないので、直接再対策本部へ
- 市長、副市長がいて、他部長は総務部長とあと一人のみで市民防災部長の不在について説明はない
- 夜、帰宅困難の方も想定されるので、議会棟は宿泊用意することを伝える
- 大船の帰宅困難を考え、芸術館を開放することを要請
- 指定管理者と相談すること
- 議会に戻り、避難者を回る
- 14 時 輸送が始まり、少しずつ避難者が減る
- 15 時、夕食も考えなくてはならないので、準備するよう総合防災課に要請
- 担当課に、宿泊を考え毛布を議場に持ってくるよう要請
- 市役所に 200 枚用意することなので、100 枚を事務局まで持ってくるよう要請
- ロビーに避難者がいなくなったので、事務局が椅子を片付ける

- 見ていた執行部職員が、手伝う
- 18 時 横須賀線が動いていないので、中沢は事務局の食事を買いに出る
- 19 時 30 分 宿泊職員を含めて、残っている事務局食事
- 総合防災課長に電話して、宿泊される避難者について確認
- 議会棟に避難されている方は、講堂に移動をお願いするとのこと
- 20 時 議会棟に避難者がいなくなったことを確認して、施錠
- 21 時ごろ、市長が議長室に 議会棟開放のお礼に
- 22 時 災害対策本部解散を受け、帰宅